『田んぼの生き物調べ』　　H29年度

砺波市立砺波南部小学校下（鹿島（かのしま）地区の児童）

●実施状況

砺波市鹿島地内の農業用排水路、田んぼにおいて、児童、保護者ら28名が水質(水温、PH、COD)調査と、水生動物、昆虫等のタモ網捕獲・観察を行い、生き物調べをしました。
天候に恵まれ、子供たちは皆、元気よく水質試験の体験や、水路と田んぼと交互に生き物捕獲に歓声を上げ、終了時間が来ても止めません。こんな全面ｺﾝｸﾘｰﾄ水路にはと、内心心配していましたが、ドジョウ、カワニナ等、予想外にたくさん居り、大人もビックリ！ 大人にとってドジョウは珍しくありませんが、今の子供たちにとっては、めったにふれ合えない生き物であり、ジッと見つめて観察する姿に、自然の大切さをあらためて感じました。

場　所　：砺波市 鹿島 地内
（農業用排水路）

実 施 日 ：平成29年 9月23日（土曜日）

参 加 者 ：砺波南部小学校下 児童　11 人
及び保護者　5 人
地元役員（鹿島地区）　1 人
砺波市土地改良区理事、等　6 人
県職員(砺波農林振興ｾﾝﾀｰ)　5 人
計　28 人

活動内容：・捕獲調査
・観測及び記録
・捕獲生物の説明
・農業用施設等の役割説明

捕獲生物：ドジョウ、カワニナ、ヌマエビ、
オタマジャクシ、バッタ、等

●参加児童の感想

1年生　女子児童

つかまえてうれしかったです。
ドジョウがいっぱいおって、
びっくりしました。
たのしかったです。

5年生　男子児童

ドジョウやタニシしかいないと思っていたけれど、エビがいたのでびっくりしました。

5年生　男子児童

もう秋なのに、おたまじゃくしがいたので驚きました。
深いところにいくとヤゴ？もいました。